

令和8年度 「全国学力・学習状況調査」の結果分析について

今年度6年生を対象に行われました全国学力・学習状況調査の分析結果をお知らせします。
調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、次の2点となっています。

- ①全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施設の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。
- ②学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

本校といたしましては、この結果をもとに児童の実態の傾向を把握し、今後の指導に生かしていきたいと考えております。ただ、今回の調査は児童が身に付けている学力の一部を測定したもので、学校における教育活動すべての評価とは言えません。2年生以上で行われている学力検査、行事ごとに行われている教師による児童の育ちの交流、児童アンケート、保護者アンケートなどを考慮し改善点として生かしていきたいと思います。

国語 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
◎内容 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ・全国平均を上回っている。 (2)情報の扱い方に関する事項 ・全国平均を下回っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を上回っている。 「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	(2) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 (情報の扱い方に関する事項) ●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 (「書くこと」) ●目的に応じて、必要な情報を見付けること。 (「読むこと」)	* 目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係を図示などにより整理することを通して、考えをまとめる学習活動の充実。 * 引用する目的を明確にし、原文を正確に引用したり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動の充実。 * 読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を儒者選択・整理・再構成しながら考える学習活動の充実。

算数 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
◎領域 「数と計算」 ・全国平均を上回っている。 「図形」 ・全国平均を上回っている。 「測定」 ・全国平均を上回っている。 「変化と関係」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「データの活用」 ・全国平均を上回っている。	●立方体の体積の計算による求め方について理解すること。 （「図形」） ●単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から広場のどちらの方が混んでいるのか判断すること。 （「変化と関係」） ●棒グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ること。 （「データの活用」）	*図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が、縦、横、高さの長さを使って計算で求められることを理解できるようにする学習活動の充実。 *関係のある数量から「1あたりの人数や面積」を求める式を作り、その商が表す意味を説明し合ったり、二つの数量関係を表、式、言葉などを用いて表現したりする活動の充実。 *目的に応じて複数のグラフを比較したり、データの特徴や傾向を捉え考察したりする活動の充実。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査から

全国平均値と比較し肯定的な回答が多い項目	肯定的な回答がやや少なかった項目
・将来の夢や目標をもっていますか。 ・分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することはできていますか。 ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ・あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校の活動でプレゼンテーションを作成することができますか。 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。 ・学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 ・英語の勉強は得意ですか。英語の勉強は好きですか。	・学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（全国の児童の回答より、やや少ない時間の回答。） ・昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館にどれくらい行きますか。（ほとんど行かないという割合） ・新聞をどれくらい読んでいますか。（ほとんど読まないという割合） ・算数の勉強は得意ですか。

学習や生活に対する項目の多くが肯定的な回答でした。自分で学習方法を工夫したり、友達と協働的に学んだり、意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。ICT機器については、教科学習でタブレットを使って考えたり、発表する際にプレゼンテーション機能を活用したりすることを通して力を伸ばしている児童が多かったようです。自己肯定感が高く、将来の夢に向かって前向きに取り組む姿は、本校で掲げている学校教育目標とも重なるところです。この結果を受けて、今後も児童が充実した学校生活を送ることができるように学校づくりを進めてまいります。